

福岡県支部における公務災害・通勤災害の認定状況(令和4年度)

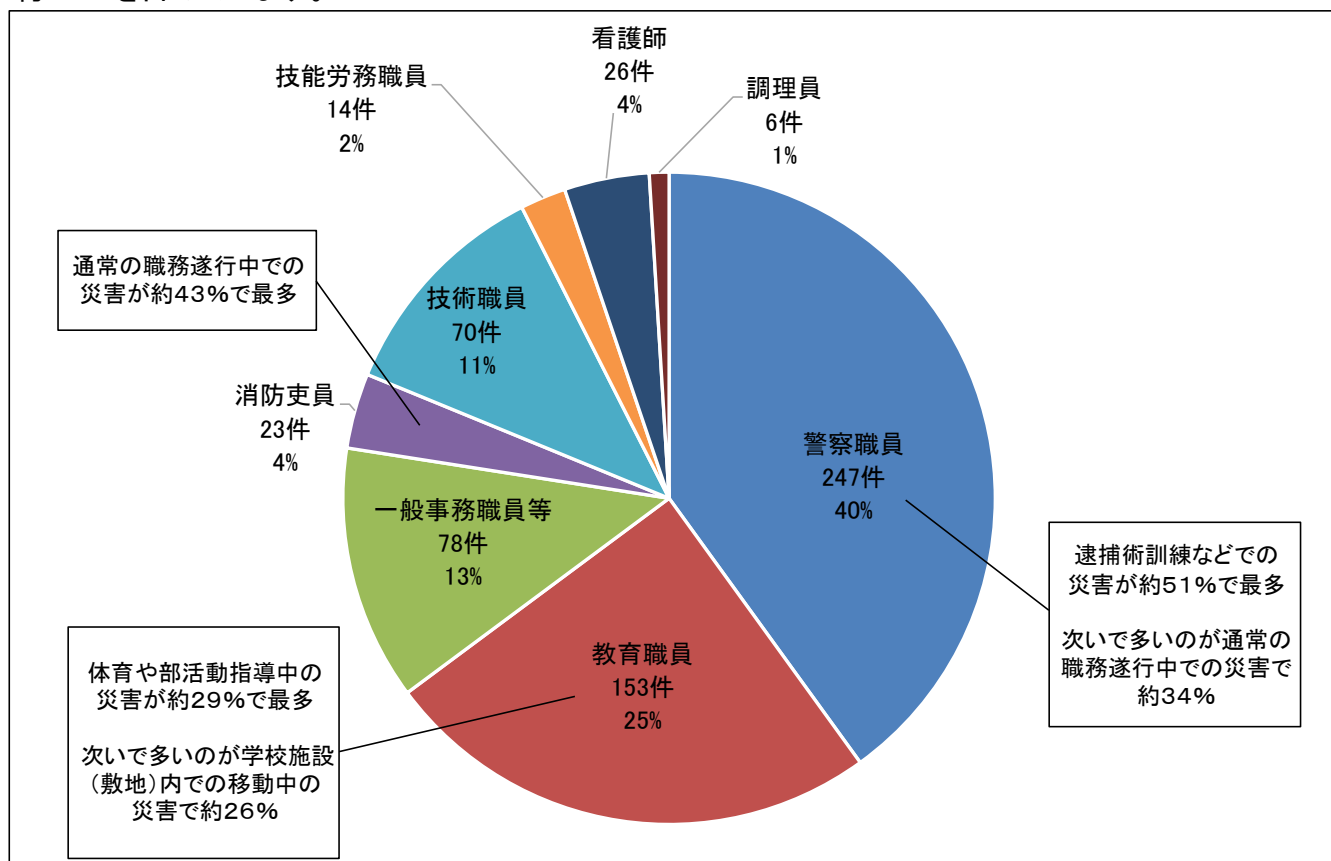
○公務災害・通勤災害認定件数

令和4年度の公務(通勤)災害の認定件数は678件、過去3ヶ年度の平均は581件で、概ね600件程度で推移しています。職員千人当たりの公務災害認定件数は警察が最も高い比率となっています。

団体種別	令和2年度			令和3年度			令和4年度			職員千人 当たり公務 災害認定 件数
	公務	通勤	計	公務	通勤	計	公務	通勤	計	
県										
知事部局等	35	5	40	30	7	37	43	11	54	5.5
教育委員会	134	10	144	152	10	162	153	14	167	6.0
警察	157	16	173	145	12	157	247	10	257	20.3
小計	326	31	357	327	29	356	443	35	478	9.7
市	100	16	116	71	13	84	78	16	94	5.0
町村	29	7	36	35	7	42	28	4	32	5.2
一部事務組合等	32	3	35	35	4	39	68	6	74	12.9
県支部合計	487	57	544	468	53	521	617	61	678	8.6

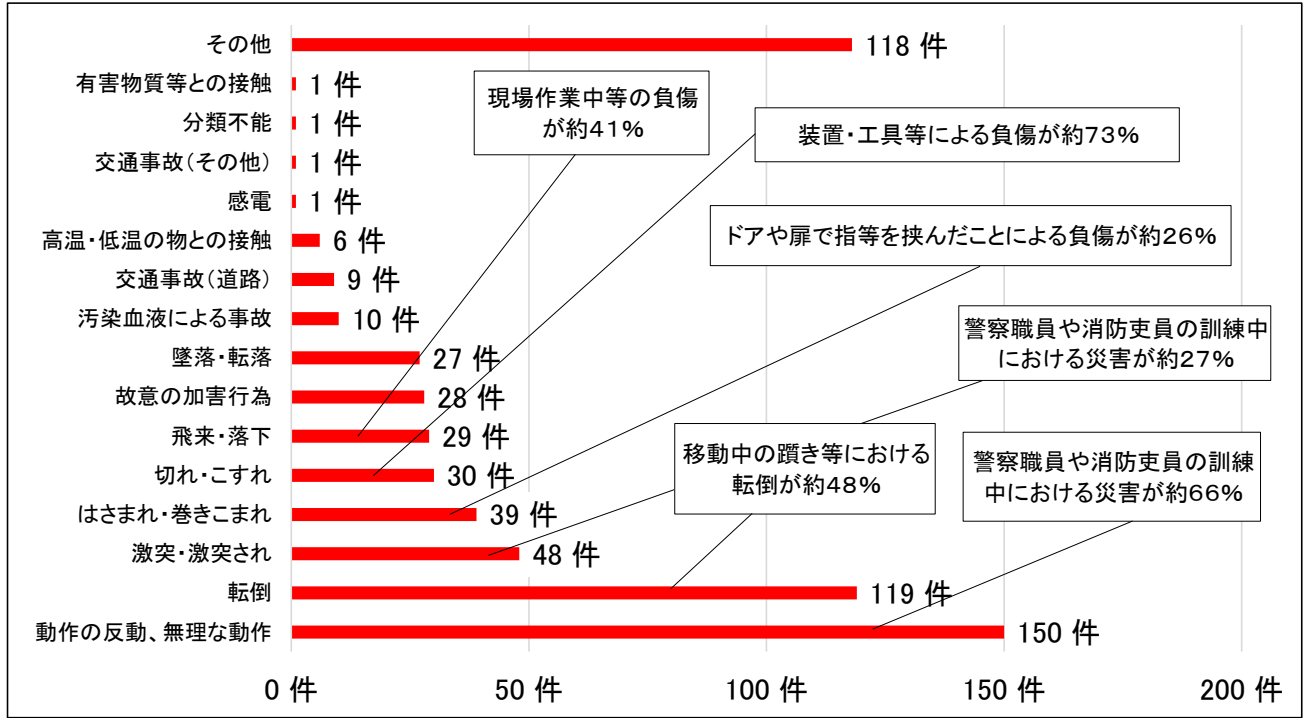
○職種別公務災害の認定状況

公務災害と認定された617件のうち、警察職員及び教育職員に係る認定件数は併せて400件と、全体の約65%を占めています。



○事故形態別公務災害の認定状況

事故形態別では、「動作の反動、無理な動作」、「転倒」及び「激突、激突され」で合わせて317件と、全体の約5割を占めています。



○傷病別公務災害の認定状況

傷病別では、「骨折」、「打撲、挫傷」、「靭帯、腱断裂」及び「創傷(擦過傷含む。)」で合わせて391件と、全体の約6割を占めています。

